

社会資本総合整備計画 中間評価書

計画の名称	安全・安心で快適な公園づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	大阪市												
計画の目標	災害時における延焼防止や避難場所など、防災・減災に寄与するような都市公園の整備を着実に進める。 また、都市公園における総合的な安全・安心対策事業（バリアフリー化）を計画的に実施するだけでなく、公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化が進んだ公園施設の計画的な改築・更新を進める。 子どもや高齢者をはじめ誰もが安全・安心で快適に利用できるような公園施設整備を進める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,156	A	1,156	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	整備計画期間における防災・減災に寄与する都市公園の整備進捗率（期間内約1.2haの整備を目指す） 整備計画期間における防災・減災に寄与する都市公園の整備進捗率 （目標年次の整備面積/H31末の整備目標面積）×100%	0%	46%	100%
2	整備計画期間におけるトイレのバリアフリー化進捗率（6箇所の整備を目指す） 整備計画期間におけるトイレのバリアフリー化進捗率 （目標年次におけるトイレのバリアフリー化済みの公園数/H30末トイレのバリアフリー化済みの目標公園数）×100%	0%	60%	100%
3	整備計画期間における公園施設（遊具等）98箇所以上の改築完了を目指す 整備計画期間における公園施設（遊具）の改築進捗率 （目標年次における改築済みの公園施設（遊具）数/H31改築済みの目標公園施設数）×100%	0%	78%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	大阪市	直接	大阪市	-	-	都市公園事業(毛馬桜之宮公園)	整備工事等(0.5ha)	大阪市						45	-	
	A12-002	公園	一般	大阪市	直接	大阪市	-	-	都市公園事業(巽公園)	整備工事等(0.48ha)	大阪市						146	-	
		平成30年度より防災・安全交付金から社会資本整備総合交付金へ移行																	
	A12-003	公園	一般	大阪市	直接	大阪市	-	-	都市公園事業(津守中央公園)	整備工事等(0.16ha)	大阪市						32	-	
	A12-004	公園	一般	大阪市	直接	大阪市	-	-	都市公園事業(大和川公園)	整備工事等(2.4ha)	大阪市						324	-	
	A12-005	公園	一般	大阪市	直接	大阪市	-	-	都市公園安全・安心対策緊急総合支援整備事業	桜之宮公園等6箇所以上の公園にいける便所のバリアフリー化	大阪市						138	-	
	A12-006	公園	一般	大阪市	直接	大阪市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業	98箇所以上の遊具等の公園施設の改築	大阪市						471	策定済	
小計																1,156			

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											合計						1,156			

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制 大阪市にて評価を実施。	中間評価の実施時期 平成30年 6月
	公表の方法 大阪市ホームページにて公表。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着実な公園整備の結果、都市公園面積が増加した。</li> <li>・公園施設における安全・安心対策を実施した結果、バリアフリー化対応のトイレ数が増加した。</li> <li>・改築済の老朽化した公園施設数（遊具）が増加した。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き着実な予算確保および事業進捗に努めることにより、最終年度の目標値達成を目指す。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	指標（整備計画期間における防災・減災に寄与する都市公園の整備進捗率）		
	中間 目標値	46%	着実な公園整備の実施により、概ね目標値は達成された。
中間 実績値	45%		
2	指標（整備計画期間におけるトイレのバリアフリー化進捗率）		
	中間 目標値	60%	配分額が当初見込んでいた事業費に満たず、事業実施年度の先送り等が必要になったため。
中間 実績値	20%		
3	指標（整備計画期間における公園施設（遊具）の改築進捗率）		
	中間 目標値	78%	配分額が当初見込んでいた事業費に満たず、事業実施年度の先送り等が必要になったため。
中間 実績値	49%		